

芦屋市議会

議会機能継続計画（議会BCP）について

令和8年10月13日 岡山県笠岡市議会 行政視察

兵庫県芦屋市議会

目次

- 策定の背景と経緯
- 芦屋市議会のBCP
 - ・ 段階的な機能回復
 - ・ BCPの発動と議員の参集
 - ・ ロック活動
- 議員の行動指針
- 執行機関と議会の役割分担
 - ・ 議会機能の維持
 - ・ アクションカードと概要版
- 訓練
- 課題と今後の展望

策定の背景と経緯

令和2年 地震・風水害編 策定
阪神・淡路大震災の教訓

令和3年 感染症対策編 策定
新型コロナウイルス感染症に直面

- ・震災から25年の節目
- ・「災害時、議員は地域でどう動くべきか」、「議会としてどう機能すべきか」を改めて整理
- ・従来の「災害対応マニュアル」からの脱却を目指す。
- ・登庁困難な状況下での定足数確保やオンライン活用など、新たな脅威への対応力を強化。

目的：大規模災害時等において、議会・議員の役割を明確化し、段階的に「議会の機能」を回復させる。

3

策定の背景と経緯

芦屋市議会基本条例（抜粋）

- 第22条 議会は、災害等が発生した時は、災害対策及び災害復旧の迅速かつ円滑な遂行に資するため、必要に応じて全議員で構成する芦屋市議会災害対策会議を設置するものとする。
- 2 芦屋市議会災害対策会議の活動については、別に定める。



芦屋市議会基本条例の見直し（平成29年度）での問題提起
・災害で議会が機能しなくなつて専決処分ばかりにならないよう、早急に議会機能を復旧させる必要があるのではないか。

阪神・淡路大震災から25年



4

策定の背景と経緯

議会BCP検討ワーキンググループ 概要

ロ会 議 体：代表者会議で設置を決定した
非公開の会議体

ロ目 的：芦屋市議会BCP案の作成

ロ設置期間：令和元年8月～令和2年5月
全15回・訓練1回・全体協議会1回

ロメンバー構成：

座長 副議長
委員 各会派から1人ずつ選出

(市は明)
会派は不明

検討プロセス



意見整理：災害時の行動や議題に関する意見、
対応策を出し合い、整理。
問題意識の共有。



先行事例：先行事例の研究



外部見識：兵庫県立大学大学院の先生から助言



訓練：訓練を実施し、マニュアルの実効
性を確認したうえで、完成させる

芦屋市議会のBCP

災害時における議会・議員の役割とは何か？

前提：時間の経過に応じて、議会や議員の役割は変化する

- ・災害時に優先すべきこと
- ・やってはいけないこと
- ・やるべきこと
- ・議会や議員だからこそできること、執行機関とは異なる強みは？
- ・その役割を果たすために必要な仕組みは？
- ・平時の備えとは？

芦屋市議会のBCP

一般的な業務継続計画

目的:既存の「業務」をいかに早く再開するか
議会への適用:災害発生直後に「議決」「監視」「政策立案」の平常業務を発揮することは不可能。

議会機能継続計画

目的:時間の経過に応じて変化する役割を整理し、議会機能を段階的に回復・継続させる。

効果:

- ・災害時の初動体制の迅速化・的確化
- ・執行機関との連携強化
- ・議会機能の早期回復
- ・市民ニーズを市の災害対応や復旧・復興施策に反映する仕組みの強化 など

議会BCPの目的は「災害時の議会の役割の明確化」「日頃からの備えの整理」

7

芦屋市議会のBCP

策定にあたり…

- ? 大規模災害時に、議会としての機能をどの時点で回復させる?
- ? 議員が地域で得た情報をどう集約し、市の災害対策本部へ伝達、情報交換する?
- ? 正副議長、事務局長の職務代行順位、議場や委員会室の代替場所、連絡手段、議員がとるべき行動・避けるべき行動は?

議会機能継続計画

段階的な機能回復

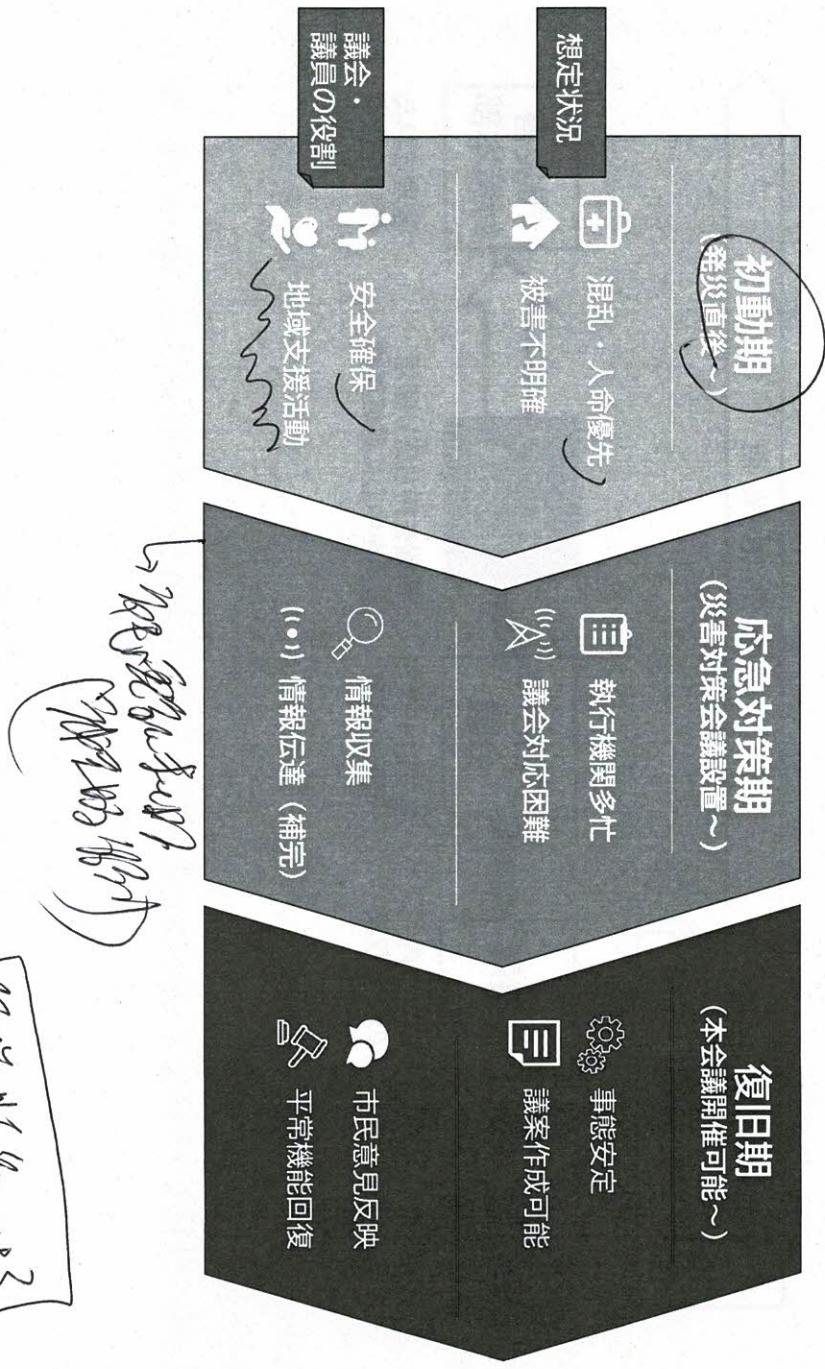
初動期 → 応急対策期 → 復旧期

ブロック活動による情報の一元化

議員の行動指針

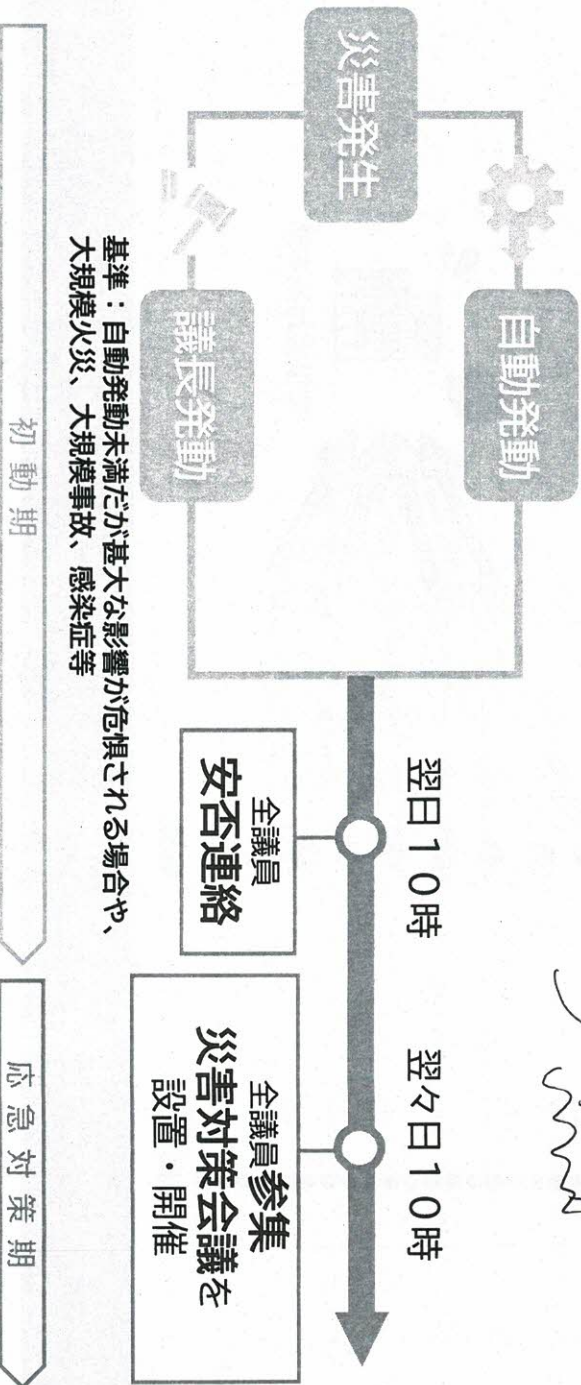
8

時間経過に応じた「段階的な機能回復」



BCPの発動と議員の参集

基準：震度5以上、大津波警報、特別警報、警戒レベル4以上

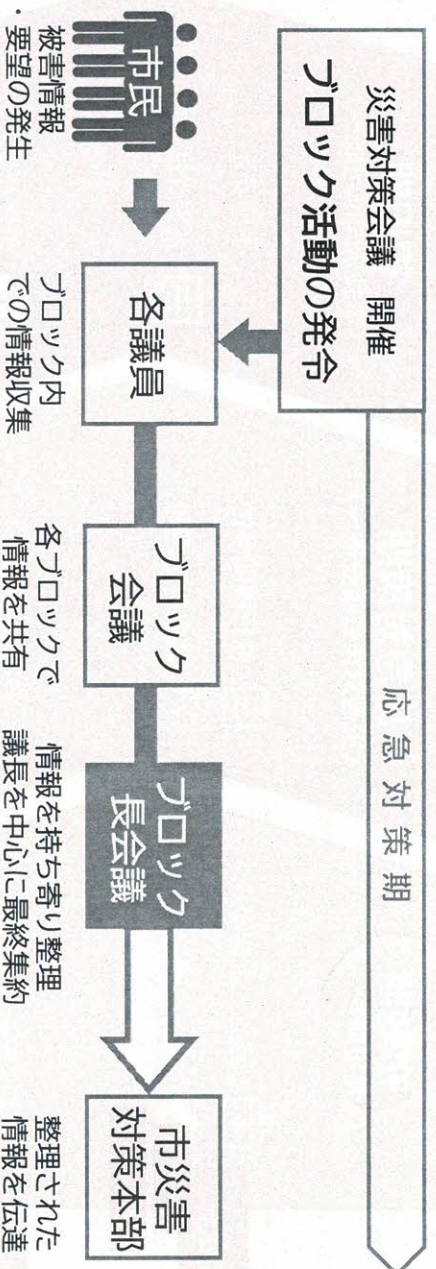


Handwritten note: 参集 (Assembly)

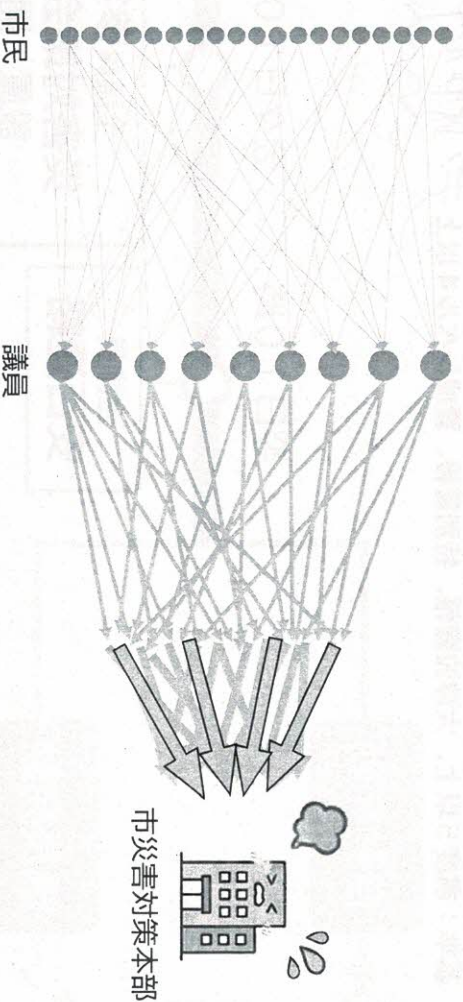
Handwritten note: 復旧期 (Restoration Period)

Handwritten note: 10/12/12

ブロック活動の情報の流れ



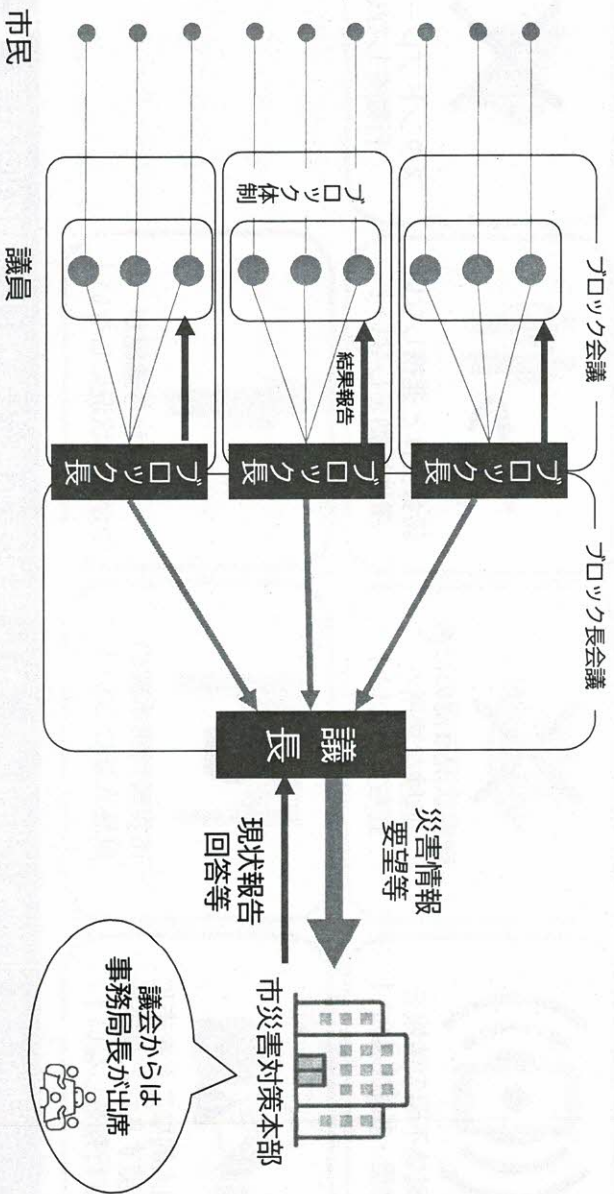
なぜ「情報の一元化」が必要なのか？



東日本大震災の教訓：岩手県大船渡市、久慈市などで、各議員が個別に市の災害対策本部へ要望や情報を伝えた結果、職員が対応に追われ本来の業務が停滞し、災害対応に大きな混乱が生じた事例がある。

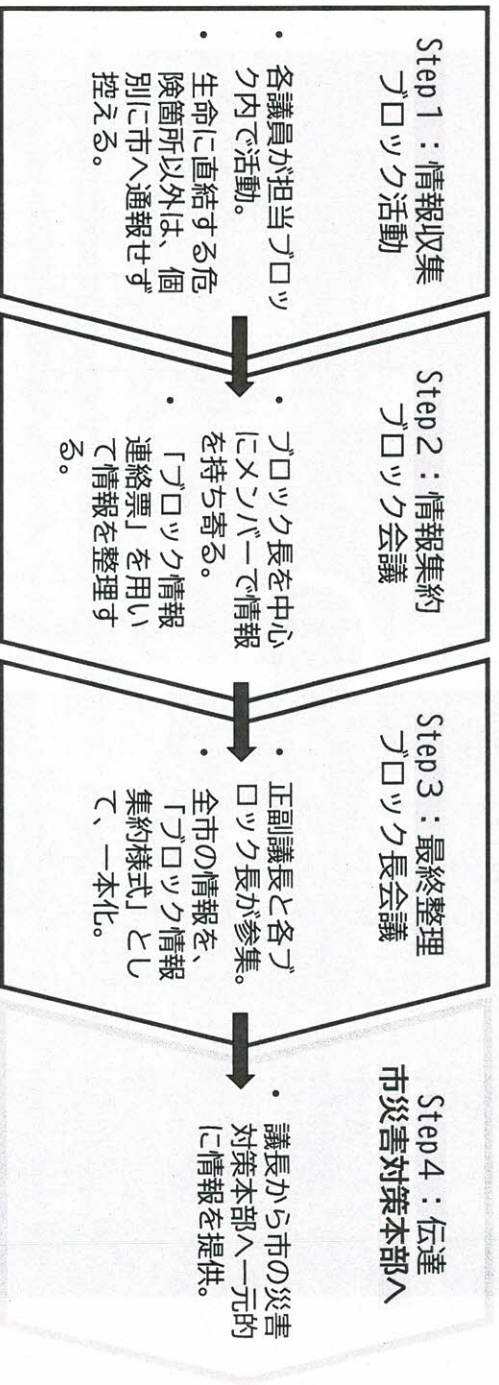
災害情報の一元化

ブロック活動による情報の一元化



【参照】ブロック体制届出一覧

ブロック活動での情報フロー



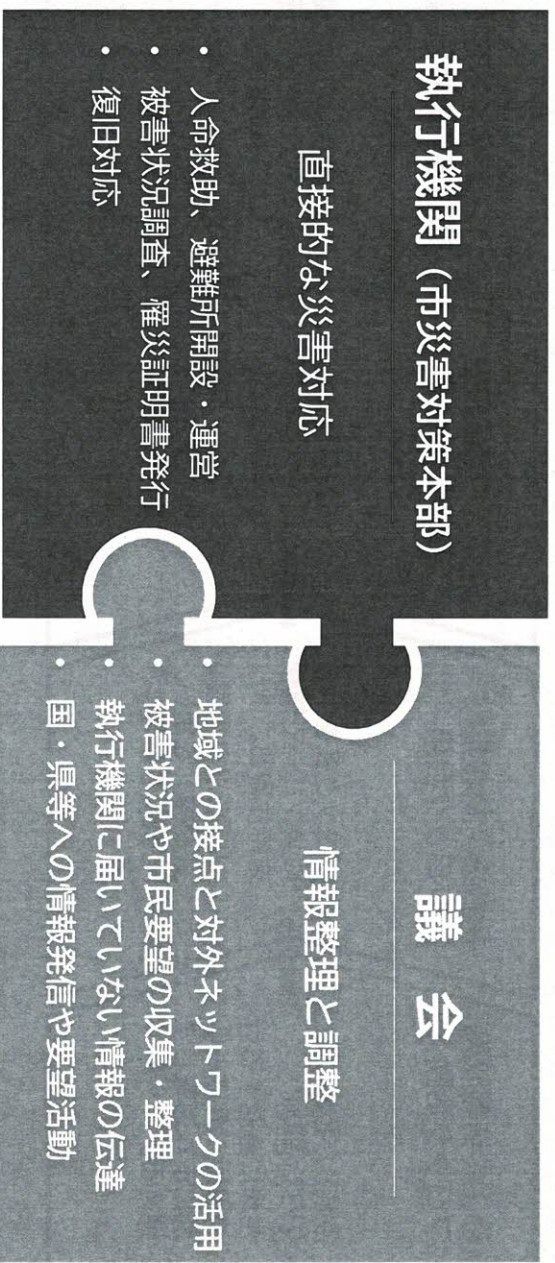
【参照】ブロック情報連絡票・ブロック情報集約様式

議員の行動指針



目的：二次災害の防止と、市災害対策本部の業務ひっ迫の回避等

執行機関と議会の役割分担



議会機能の維持

議長不在時の職務代行順位



1. 副議長
2. 議会運営委員会 委員長
3. 議会運営委員会 副委員長
4. 総務常任委員会 委員長
5. 民生文教常任委員会 委員長
6. 建設公営企業常任委員会 委員長

※正副議長不在の場合は、仮議長の選挙を実施



会議開催の判断基準

- ☒ 定足数
- ☒ 代行者の有無
- ☒ 説明員（執行部）の出席可否

代替場所



議場・委員会が使用不能な場合を想定
→「代替会議室リスト」を常備

事務局長の職務代行順位

総務課長 → 議事調査課長



アクションカードと概要版

アクションカード

戸田市議会BCPアクションカード 地震 【本会議中発生】 （議長、事務局長用） 1 緊急地震速報・地震発生 【議長発言】 ① 暫時休憩！！ ② 全員、身をかためて！ ヘルメットをかぶれ！	戸田市議会BCPアクションカード 地震 【委員会中発生】 （委員長、事務局長用） 1 緊急地震速報・地震発生 【委員長発言】 ① 暫時休憩！！ ② 全員、身をかためて！ 机の下に身を守れ！	戸田市議会BCPアクションカード 議員用 地震 【在庁時発生】 ※会議中を除く 議員控室等で使用するカード 1 緊急地震速報・地震発生 ① 身をかためて！！ 身を守れ！ （机の下などに隠れる！）	戸田市議会BCPアクションカード 議員用 地震 【市内活動中で発生】 自宅等で使用するカード 1 緊急地震速報・地震発生 ① 身をかためて！！ 身を守れ！ （机の下などに隠れる！）	概要版 戸田市議会BCP ＜概要＞ 令和7年3月 第2版 連絡先一覧 二田 隆弘 事務局長 TEL: 0597-28-5201 FAX: 0597-28-5100 二田 茂樹 代表 TEL: 0597-21-2121 名前 _____
---	--	---	--	--

議場に常備

委員会室に常備

議員控室に常備



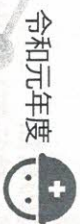
議員が各自所持

事務局に非常時用備品設置：ホワイトボード、筆記用具、コピー用紙やガムテータ等の文具、防災マツタ、市内地図等

訓練の実績（令和元年度～令和7年度）



地震・風水害編



令和元年度

BCP策定途中に実施。本会議中の地震・停電を想定した執行機関との合同訓練。

令和2年度



「感染症のため事務局職員不在」を想定し、議員のみで会議資料の作成・録音機操作。



令和3年度

登庁困難な状況を想定し、LINEを用いたオンライン会議でブロック活動の検証。



感染症対策編

訓練の実績（令和元年度～令和7年度）



地震・風水害編

令和4・5年度



会議中、閉会中それぞれについて、オンラインを用いて発災直後の対応を確認。

令和6年度



控室で被災を想定したシェイクアウトや避難経路確認、市役所周辺の防災設備視察。

令和7年度



感染症の流行等を想定した代替施設での臨時本会議の実施。



令和8年度

全議員登庁を想定して、発災直後の初動期から復旧期までの流れを確認。



感染症対策編

令和元年度の訓練



地震・風水害編

第1部

場所：議場

想定：本会議中に地震発生

流れ：「停電発生時の対応」→「負傷者の搬出」→

「発災直後の代表者会議→議運→本会議（延会）→芦屋市議会災害対策会議の設置」

第2部

想定：発災翌日の対応

流れ：「芦屋市議会災害対策会議→ブロック会議→ブロック長会議」

第3部

場所：大会議室

流れ：第1部から同席いただいた兵庫県立大学大学院の教授の方の講評



令和元年度に実施した訓練の様子（10分程度に編集した映像）をご覧ください

令和元年度に実施した訓練の様子（10分程度に編集した映像）をご覧ください

21

訓練実施までの流れ

1



議会BCP検証検討会議で訓練内容を検討

2



事務局が、タイムスケジュール、資料作成、物品手配やオンライン会議の準備等を行う。

3



訓練内容決定後、全体協議会で全議員に訓練内容を周知。

訓練実施

4



訓練後、全議員で振り返りを行い、アンケートを実施。
議会BCP検証検討会議で課題等を整理し、最終報告にまとめる。

5



代表者会議で報告し、ホームページで公表。

22

課題と今後の展望

計画の見直し

- ・ 議員の任期中に少なくとも1回は本格的な見直しを実施。
- ・ 軽微な修正は随時反映。

マニュアルの課題

- ・ 現実の災害想定が十分でない可能性。
- ・ 維持管理の負担が大きく、事務局内でも内部共有が不十分。



訓練の課題

- ・ 形式的な実施になり参加意識低下のリスク。
- ・ シナリオが単純で実践的な対応力が養われにくい。

体制・連携の課題

- ・ 確実な安否確認、参集の実効性のある仕組みの構築と検証が困難。
- ・ 毎年の訓練運営の業務負担が大きい。

BCPは策定して終わりではなく、継続的な訓練と内容の見直しにより、活用できるものにしておく必要がある。

ご清聴ありがとうございました

兵庫県芦屋市議会 様

21. → 19. 2001. 204
至徳寺、2年を1

【視察項目】 議会BCP（議会機能継続）及び議会機能継続訓練について

1 議会機能継続訓練について、年度ごとの目標やテーマの設定はどのような場（議会運営委員会等）でどのような議論を経て決定しておられますか。また、前年度の訓練で明らかになった課題を次年度の目標設定にどのように反映しておられますか。

2 訓練のシナリオの原案は誰（議会事務局・議員・外部など）が作成しておられますか。また、作成にあたり、市の防災担当部局や防災コンサルタント等の外部専門家の協力・助言を得ておられますか。

3 議会事務局職員の訓練における具体的な役割分担と負担軽減の工夫について御教示いただくとともに、事務局職員自身が被災した場合や事務局が機能しない場合を想定した訓練を行っておられるか、あわせて御教示ください。

4 実施した訓練の検証はどのような場（議会運営委員会や専門の検討会・作業部会等）で行っておられますか。また、検証にあたって、参加者アンケートや振り返りシート等を用いておられますか。

（様式等を用いておられる場合は、御提供いただけますと幸いです。）

5 訓練の検証で抽出された課題を議会BCP本体や次年度以降の訓練内容の見直し（改善）にどのようなにつなげておられますか。そのPDCAの手続と、これまでの検証を踏まえて、実際に見直された事例（新型コロナウイルス感染症流行時の経験を反映した改訂を含む）があればあわせて御教示ください。

6 議会機能継続訓練を執行機関（市の災害対策本部）の防災訓練と連携させて実施しておられますか。また、議員・議会事務局・執行機関の三者の役割分担や情報連携について、訓練を通じてどのように確認・改善しておられますか。



7 議員の参加意識・当事者意識を高めるために特に効果があった取組がありましたか。また、議員の改選によりBCPに不慣れな議員が増える時期にどのようなフォロー（研修・個別説明など）を行っておられますか。

8 災害対策会議における議長・副議長・会派代表者・事務局の具体的な役割分担を訓練の中でどのように確認・検証しておられますか。また、LINEグループの活用に関して、通信量の増大や後発キャリア利用者の接続リスクが課題として挙げられていたと承知しておりますが、現時点での具体的な対応策や代替手段をどのように整理しておられますか。あわせて、通信途絶を想定したアナログ対応の具体的な取組や検討状況についても御教示ください。

9 議場が使用できない場合の代替施設での議会運営訓練（実際に代替施設へ移動しての訓練など）や感染症発生時を想定した訓練（自宅からのオンライン参加、感染防止対策を講じた中での会議運営など）を実施しておられますか。また、オンライン会議におけるセキュリティ対策（会議室のパスワード設定・傍聴者の扱いなど）や議事録作成・採決の記録方法について訓練で確認・検証しておられることがあればあわせて御教示ください。